

MeetingPlace Web パッチ インストール パッケージの展開用実行手順

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[インストーラ 機能](#)

[利用シナリオ](#)

[カスタマイズ無しのサーバ](#)

[カスタマイズを用いるサーバ](#)

[インストール パッケージ 配置 プロシージャ](#)

[関連情報](#)

概要

Cisco MeetingPlace Web のパッチは、Lightweight インストーラの Patch Installation Package 形式で配信されます。

パッチ インストール パッケージはこのファイル名 パターンを zip か自己解凍 .exe ファイルで与えられます:

- MPWEB<release#>_<build#>_<patch#>.zip
- MPWEB<release#>_<build#>_<patch#>.exe

各記号の意味は次のとおりです。

- **release#** -ソフトウェアの主要なバージョン (たとえば、4.3.0) のための 4.2.7 か 430 のための 427。
- **build#** -完全なビルド/インストーラ数 (たとえば、4.2.7.106 のための 106 か 4.3.0.63) のための 63。
- **patch#** -このパッケージに含まれている最大パッチ レベル。

パッチは完全なインストール バージョンの上の開発され、4.2.7.106.20 のような第 5 番号によって、識別されます (4.2.7.106) Cisco Unified MeetingPlace Web バージョンのパッチ レベル 20 か 4.3.0.63.6 (Cisco Unified MeetingPlace Web バージョン 4.3.0.63 のパッチ レベル 6)。

パッチ インストール パッケージは累積です。たとえば、4.2.7.106.20 パッケージは 1 から 20 にすべてのパッチが含まれています。パッチ レベル 5 をインストールする全面的なインストールの安定性および一貫性を確認するによりすべてのより早いパッチを引き起こします (たとえば、インストールされるべき 1 から 5) への。

パッチ インストーラはまた特定の Cisco Unified MeetingPlace Web バージョンのための標準のファイルのデータベースに関するサーバのカスタマイズによるあらゆる非互換性の警告します。サーバがカスタマイズされる場合、Cisco Unified MeetingPlace カスタマイゼーション サービスからのカスタマイズされたファイルを得、標準パッチ インストール パッケージに含める必要があります。カスタマイズを維持している間それからパッチをインストールできます。詳細は[インストール パッケージ 配置 プロシージャ](#) セクションの下で記述されています。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は MeetingPlace Web バージョン 4.2.7.106 基づいた on Cisco およびそれ以降です。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

インストーラ 機能

パッチ インストール パッケージに 3 つの主要機能があります:

- **ファイル 整合性検査** MeetingPlace Web サービスを停止しないで既存の Cisco Unified MeetingPlace Web インストールの一貫性をチェックして下さい。この機能はいくつかのファイルが変更されたかどうか確認するために標準 Cisco Unified MeetingPlace Web インストールの一部であるすべてのファイルの存在、バージョン、サイズ、チェックサムおよびタイムスタンプを、(カスタマイズされる) 確認しましたりまたは矛盾した状態にあります (ファイルは抜けています、バージョン異なります、等)。
- **パッチ レベル 互換性 チェック** MeetingPlace Web サービスを停止しないでこのパッチ インストール パッケージに、含まれているすべてのパッチ レベルが付いている既存の Cisco Unified MeetingPlace Web インストールの互換性をテストして下さい。これが既にサーバで展開される特定のパッチ レベルをインストールすることがカスタマイズを壊すことを行っていないことを確かめるために必要となります。サーバにカスタマイズがない場合、この機能はサーバがインストール パッケージに含まれているすべてのパッチ レベルと互換性があることを確認します。
- **パッチ インストール** 水平なサーバで特定のパッチをインストールして下さい。このオプションは Cisco Unified MeetingPlace Web および IIS サービスを最初に停止することを必要とします。インストーラは望ましいパッチ レベルに標準 パッケージが Cisco Unified MeetingPlace カスタマイゼーション サービスからのカスタマイゼーション パッケージと拡

張された場合 Cisco Unified MeetingPlace Web インストールをアップグレードし、カスタマイズを再適用します。

利用シナリオ

カスタマイズ無しのサーバ

互換性がある Cisco Unified MeetingPlace Web リリースと最新の標準パッチ インストール パッケージを使用して下さい。

- オプション 1 –インストールの一貫性を確認します。
- オプション 2 –あらゆるパッチ レベルにアップグレードできることを確認します。
- Option 3 –あらゆるパッチ レベルにアップグレードすることを許可します。

カスタマイズを用いるサーバ

Cisco Unified MeetingPlace Web リリースと互換性がある最新の標準パッチ インストール パッケージを使用できます。

- オプション 1 –インストールの一貫性を確認し、どのファイルがカスタマイズされたか分析します。
- オプション 2 –どのパッチ レベルがカスタマイズのアップデートを必要とするか判別します。特定のパッチ レベルはカスタマイズが理由で安全に加えることができないことをインストーラが判別したら適切なサーバのために更新済カスタマイゼーションを要求するために Cisco Unified MeetingPlace カスタマイゼーション サービスに連絡して下さい。
- Option 3 – Cisco Unified MeetingPlace カスタマイゼーション サービスから受け取ったカスタマイゼーション パッケージが付いている標準 パッケージを拡張したら望ましいパッチ レベルにアップグレードし、適切なカスタマイズを再適用することを許可します。

インストール パッケージ配置プロシージャ

次の手順に従います。

注: パッチ インストール パッケージの内で含まれているファイルの詳細については上で[概要](#) セクションを参照して下さい。

1. Cisco Unified MeetingPlace Webサーバに [パッチ インストール パッケージ](#) ([登録ユーザのみ](#)) の最新バージョンをダウンロードして下さい。注: MeetingPlace Web リリースのための正しいパッケージをダウンロードするように MeetingPlace Web リリースがサーバで実行しているものを確認して下さい。注: WinZip がサーバでインストールされていない場合、パッケージの自己解凍 .exe バージョンをダウンロードすること確実であって下さい。
2. C:\Temp\Patch のようなサーバの一時フォルダを、作成して下さい。このフォルダが空であることを確かめて下さい。
3. この一時フォルダに標準パッチ インストール パッケージを得て下さい。臨時雇用者フォルダにパッケージを得て下さい。WinZip Application ウィンドウからインストーラを直接実行できません。
4. **installer.exe** プログラムのダブルクリック。インストーラはウィンドウズの デスクトップで

コマンドプロンプトで基づくおよび起動するテキストです。

5. システム (初期化ステップ) についての情報を収集するためにインストーラを待って下さい。 終えられたとき、メニューオプションは現われます: Latitude Communications Patch Installer V1.0

=====

Product detected: MeetingPlace Web Conferencing.

Install location: C:\Latitude\MPWeb

Version: 4.2.7.106.3

Patch Installation Package level: 20

1) Check system files consistency

0) Exit

Select: 上述の例では、フォルダ C:\Latitude\MPWEB にインストールされるインストーラは Cisco Unified MeetingPlace Web を検出する。 主要なバージョンは 4.2.7.106 であり、現在のパッチレベルは 3.です。 ここでは使用されるパッチ インストール パッケージはレベル 20 まですべてのパッチが含まれています。

6. 入力を『1』を選択し、インストール整合性検査を開始するために押して下さい。インストーラはインストールの各ファイルを確認し、マスター ファイル リストで保存される公式バージョンに対応しない各ファイルのためのメッセージを出力します。インストーラが不整合を検出する場合、次のメッセージの 1 つを表示する:<file_name> は抜けています。

<file_name> ファイルは Cisco Unified MeetingPlace Web インストールにありません。ある特定のファイルは選択したインストール オプションによってインストールされていません。たとえば基本インストールを選択した、またはテンプレート フォルダのファイルは DMZ-C 設定に外部サーバでインストールされていません場合、「可聴周波サービス」はファイルをインストールされていません関連付けました。抜けたファイルのリストはインストールが破損していないことを確認するために確認することができます。<file_name> はパッチレベル <x> にあります (<y> の代りに)。ファイル <file_name> の水平なパッチは期待されたものではないです。これはシステムの矛盾したパッチ インストールを示すことができます。どんなパッチレベルがインストールされているかインストーラを実行する時最初に、それは知られないことに注目すればそれは仮定されたパッチレベル 0 (インストールされるパッチ無し) です。パッチレベルの前にインストールされている場合、 x 多数の「<file_name> 受け取ります0)」メッセージ。これは、正常な動作です。<file_name> はカスタマイズされます。<file_name> ファイル内容は元ファイルのコンテンツを一致するし、タイムスタンプ値は元ファイルの 1 つより高いです。従ってインストーラはこのファイルがカスタマイズされたことを仮定します。<file_name> はカスタマイズされます (ファイル <other_file_name> によって上書きされて)。<file_name> ファイル内容は Cisco Unified MeetingPlace Web ディストリビューションの一部である元ファイルのコンテンツを一致するが、別のファイルに対応します。従ってインストーラはこのファイルが別のファイル (典型的なコンテキストの置換によってカスタマイズされたと仮定します: DMZ コンフィギュレーション、mpagent.exe および mpagenttext.exe の内部/外部サーバのためのテンプレート-外部サイトのための mpageant.exe のセキュア バージョン- DataSvc フォルダの...、等)。<file_name> は不正確なタイムスタンプ (<= <ts_value>) とカスタマイズされます。可能性のあるバージョン ミスマッチ。<file_name> ファイルはカスタマイズされたファイルとして検出するが、タイムスタンプ値は余りに低く、可能性のあるバージョン ミスマッチを示します。これは Cisco Unified MeetingPlace Web インストールがパッチレベル <x> で

あるはずであり、カスタマイズされたファイル タイムスタンプがパッチ レベル <x> と互換性がある元ファイルのタイムスタンプ (<ts_value>) より下部であると発生します。
<file_name> はパッチ レベル <x> にまたはそれ以下に基づいています。これは可能性のあるバージョン ミスマッチについてのより多くの詳細を説明する前のメッセージの拡張です。
<file_name> が元ファイルのパッチ レベル <x> に基づいていたカスタマイズされた不正確なタイムスタンプに基づいて、ようです (また更に下記に、インストーラは把握できません) 。 Cisco Unified MeetingPlace Web インストールがパッチ レベル <y> であるはずである場合これはこの仕様によってカスタマイズされるファイルのための可能性のある 不一致の示す値を与えます。 <file_name> は製品の以前のリリースに基づいています (タイムスタンプに従って) 。 <file_name> ファイルはこのリリースのあらゆる公式 バージョンに (ファイルのを含むすべての可能性のある修正されたバージョン) 対応しないし、タイムスタンプはベース (パッチ水平な 0) バージョンの 1 より下部のです。従って、ファイルは製品の以前のリリースから来るようです。これは可能性のある アップグレードに関する問題です (ファイルは現在のバージョンにアップグレードされませんでした) 。

7. インストーラは今メニューの 2 つのオプションを表示する:Latitude Communications Patch Installer V1.0

=====

Product detected: MeetingPlace Web Conferencing.

Install location: C:\Latitude\MPWeb

Version: 4.2.7.106.3 Patch Installation Package level: 20 1) Check system files consistency
2) Check system compatibility with patch level 0) Exit Select:

8. 『2』 を選択し、パッチ レベル 互換性 チェックを開始するために 『Enter』 を押して下さい。インストーラは基づいてサーバの各パッチ レベルの互換性を (現在インストール済みパッチ レベルより高く) 確認します:カスタマイズされたファイルがあるかどうか。どんな存在がカスタマイズしたかファイルは特定のパッチ レベルにアップグレードする場合上書きされます。カスタマイゼーション サービスからの新しいカスタマイズされたファイルが付いている標準 パッケージを拡張したかどうか。このオプションを選択するとき、情報は実際のテストが始まる前に表示する:Latitude Communications Patch Installer V1.0

=====

Option selected: Check system compatibility with patch level.

System current patch level: 3 Patch Installation Package level: 20 Checking files

compatibility up to patch level 20 Checking files for compatibility with patch level 4 この時点で、インストーラは各パッチ レベルの互換性を現在インストール済みパッチ レベルより高くテストしています。テストされる各レベル X の場合次のメッセージは表示することができます:<file_name> はアップデートされるカスタマイズがある必要があります。
<file_name> ファイルはシステムでカスタマイズされるように検出する、水平な <x> を修正するためにアップグレードは新しいバージョンとのこのファイルを (特に) アップグレードすることを必要とします。従ってサーバのカスタマイズはアップグレードによって消されます。 <file_name> は現在のバージョンにアップグレードされる必要があり、 (可能性のあるカスタマイズを再適用して下さい) 。 <file_name> ファイルはカスタマイズされ (検出する、可能性のある) システムの以前のリリースから来ますように、水平な <x> を修正するためにアップグレードはこの特定のファイルをアップデートすることを必要とします (特に) 。 システム 一貫性を確認するために、使用していることこのファイルのバージョンが Cisco Unified MeetingPlace Web リリースと互換性があることを確かめて下さい、 (カスタマイズが適用すること、必要ならば) 。確認プロセスの終わりに、要約はインストーラによ

って表示する。この3つのメッセージの1つは表示する:このシステムはあらゆるパッチレベルと互換性がありません。このシステムはすべてのパッチレベルと互換性があります。このシステムは次のパッチレベルと互換性があります: (パッチのリストはカスタマイズを壊さないで安全にアップグレードできます水平にします)。

9. インストーラがことを判別すればほしいと思う特定のパッチレベルはカスタマイズが理由で連絡しなす適切なサーバのために更新済カスタマイズを要求するために Cisco Unified MeetingPlace カスタマイゼーション サービスに安全に加えることができません。インストーラによって生成される install.log ファイルを Cisco Unified MeetingPlace カスタマイゼーション サービスに送信し、カスタマイズをアップデートしてもらうように作業 明細書 (SOW) を要求して下さい。注: 更新済カスタマイズは顧客の現在のソフトウェアバージョンの最新パッチ リリースのためにだけ提供されます。Cisco Unified MeetingPlace カスタマイゼーション サービスは更新済カスタマイズが含まれているカスタマイゼーション パッケージ送信します。カスタマイゼーション パッケージを受け取るとき、ステップ 2. で作成した同じ一時フォルダにそれを得て下さい。カスタマイゼーション パッケージのコンテンツはカスタマイズ サブ フォルダに得られ、インストーラはサーバのための利用可能なカスタマイズ現在に気づいています。install.exe プログラムを再実行し、オプション 1 および 2 を再度通過して下さい。

10. インストーラは今メニューの3つのオプションを表示する:Latitude Communications Patch Installer V1.0

```
=====
Product detected: MeetingPlace Web Conferencing.

Install location: C:\Latitude\MPWeb
```

```
Version: 4.2.7.106.9 Patch Installation Package level: 20 1) Check system files
consistency 2) Check system compatibility with patch level 3) Upgrade to higher patch
level 0) Exit Select:
```

11. より高いパッチレベルにインストールをアップグレードしたいと思う場合『3』を選択し、『Enter』を押して下さい:Latitude Communications Patch Installer V1.0

```
=====
Option selected: Upgrade to higher patch level.
```

```
System current patch level: 9 Patch Installation Package level: 20 This system is
compatible with the following patch level(s): 10,11,12,13,14 注: 非互換性があるパッチレ
ベルにアップグレードしたいと思う場合アップグレードする前にケースを配置を水平なこ
の特定のパッチに対してカスタマイズをアップデートするためにするためにオープンして
もらうように Cisco テクニカル サポートに連絡して下さい。 そうしないことは現在このシ
ステムでインストールされたカスタマイズ一部またはすべてを壊します。 Pre-requisite:
IIS Admin, World Wide Web Publishing Service
and all MeetingPlace Web services need to be stopped before
upgrading to a higher patch level.
```

```
Enter patch level [10-20] to upgrade to (0 to exit):
```

12. 注意深く続行する前に提供される情報を確認して下さい。上述の例では、インストールはパッチレベル9にあり、レベル10に14にだけ安全にアップグレードできます。レベル15〜20へのアップグレードはサーバのカスタマイズ一部またはすべてを壊します。アップグレードする前に、また Cisco Unified MeetingPlace Web サービスおよび IIS 関連 サービスが停止するようにして下さい。Cisco Unified MeetingPlace Web システムが稼働している間アップグレードは可能性のあるではないです。

13. にアップグレードし、『Enter』を押したいと思うパッチレベルを入力して下さい。インストーラはシステムをアップグレードします:Enter patch level [10-20] to upgrade to (0 to exit): 14

Checking services status.

Installing patch level 10

5 file(s) copied.

Installing patch level 11

13 file(s) copied.

Installing patch level 12

1 file(s) copied.

Installing patch level 13

1 file(s) copied.

Installing patch level 14

8 file(s) copied.

Updating customizations by copy over.

8 file(s) copied.

Upgrade completed.

29 file(s) copied.

MPWEB Version registry key set to: 4.2.7.106.14.

Detailed information for this session has been logged to file: Install.log.

Press any key to exit now.

14. アップグレードが完了した後、唯一のオプション残ることはインストーラを終了することです。終了するためにキーを押して下さい。インストーラはこのサーバで利用可能な新しいパッチレベルを反映するためにレジストリキーをアップデートしました。この情報は Cisco Unified MeetingPlace Webサーバのホームページで接続するとき表示する。このインストールセッションへのすべての関連情報は一時フォルダのファイル install.log に記録されました。Cisco は Cisco テクニカル サポートがシステムのそれ以上のトラブルシューティングのためにそれを必要とすればアーカイブしますこのファイルを推奨します。
15. パッチ インストール パッケージ使用した一時フォルダを保存するか、または削除できます (およびカスタマイゼーション パッケージを得るのに)。将来それらを再度使用する必要があれば標準パッチ インストール パッケージたいと思う場合もあります (およびカスタマイゼーション パッケージを保存したとえば) (、サーバソフトウェアの再インストール、等)。

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [ボイスと IP 通信に関するサポート](#)

- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)